記入例2 給与支払報告書(個人別明細書)

赤色の□で囲んだ項目は記入の仕方、内容等に注意事項等がありますので、必ず確認の上ご記入をお願いします。

7 給与支払報告書(個人別明細書)	① 支払を受ける者 住所又は居所 富士見町落合10777番地223		② 支払金額 千円 円 6 152 000		給与所得控除後の金額 (調整控除後) 千円 円 4 481 600		所得控除の額の合計額 千円 円 3 715 660		源泉徴収税額 千円 円 0		
	③ 配偶者(特別)控除の有無等 有 無 有 無 0 0 0 0		控除対象扶養親族の数 (配偶者を除く) 特定 老人 その他 2 1 1		16歳未満扶養親族の数 16歳未満 特別 その他 2 0 0		障害者の数 (本人を除く) 障害者 特別 その他 0 0 0		源泉徴収対象配偶者 源泉徴収対象配偶者 有 無 有 無 0 0 0 0		
⑤ 社会保険料等の金額 千円 円 (60,000) 500,660		生命保険料の控除額 千円 円 120,000		地震保険料の控除額 千円 円 15,000		⑥ 住宅借入金等特別控除の額 千円 円 38,581		⑦ 源泉徴収時所得税減税控除済額0円、控除外額210,000円、普A 前職:富士見工業(株) 富士見町富士見4321番地 令和5年6月30日退職 支払金額 3,082,000円 社会保険料 146,570円 徴収税額 22,500円			
⑧ 住宅借入金等特別控除の適用数 1		居住開始年月日(1回目) 31 2 23		⑧ 住宅借入金等特別控除区分 住(特)		住宅借入金等年末残高(1回目)		⑨ 国民年金保険料等の金額 千円 円 90,000			
⑩ 控除対象扶養親族 1 氏名 富士野 夏子 個人番号 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 5 6		⑪ 16歳未満の扶養親族 2 氏名 富士野 楓 個人番号 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 6 7		⑫ 5人目以降の控除対象扶養親族の個人番号		⑬ 国民年金保険料等の金額 千円 円 120,000		⑭ 旧長期障害者控除の金額 千円 円 28,000		⑮ 旧個人年金保険料等の金額 千円 円 121,000	
⑯ 収入金額が850万円を超え、所得金額調整控除の適用がある場合には、所得金額調整控除額を記入してください。		⑰ 収入金額が850万円を超え、所得金額調整控除の適用がある場合には、所得金額調整控除額を記入してください。		⑱ 収入金額が850万円を超え、所得金額調整控除の適用がある場合には、所得金額調整控除額を記入してください。		⑲ 収入金額が850万円を超え、所得金額調整控除の適用がある場合には、所得金額調整控除額を記入してください。		⑳ 収入金額が850万円を超え、所得金額調整控除の適用がある場合には、所得金額調整控除額を記入してください。		㉑ 収入金額が850万円を超え、所得金額調整控除の適用がある場合には、所得金額調整控除額を記入してください。	

- ① 【住所又は居所】 令和7年1月1日現在で、実際に住んでいる住所を記入してください。
【個人番号】 給与の支払いを受ける方の個人番号を記入してください。
【氏名】 必ずフリガナをふり、姓と名の間を1文字開けて記入してください。
- ② 【支払金額】 令和6年中に支払の確定した給与等の総額を記してください。未払いのものがあるときは、未払い額を内書きしてください。
【給与所得控除後の金額(調整控除後)】
支払金額に応じて求めた給与所得控除後の金額を記してください。なお、所得金額調整控除の適用がある場合には、所得金額調整控除の額を控除した後の金額を記してください。
- ③ 【有】 支払う給与等から配偶者控除をした場合には「○」を記入します。 ※配偶者の有無の記入ではありません。
【老人】 配偶者控除の対象となる配偶者が老人控除対象配偶者である場合には「○」を記入します。
- ④ 控除の対象となる配偶者・扶養親族、16歳未満の扶養親族のうち、非居住者の方がいる場合には、その人数を記入します。
- ⑤ 社会保険料の金額及び小規模企業共済等掛金の額の合計額を記入してください。また、小規模企業共済等掛金の額については、その額を内書きしてください。
- ⑥ 実際に源泉徴収した税額を記入してください。住宅借入金控除や、定額減税控除がある場合は、控除適用後の金額となります。
- ⑦ 1. 年末調整で定額減税を行った場合は、「減税控除済額××円」、控除しきれなかった額を「控除外額××円」と記載してください。さらに、合計所得金額が1,000万円超である者の同一生計配偶者分を減税控除額の計算に含めた場合には、「非控除対象配偶者減税有」と記載してください。なお、中途退職など、年末調整時に定額減税していない場合は、記載する必要はありません。
2. 普通徴収切替理由書により普通徴収の対象となる場合は、符号(普A~普F)を必ず記入してください。
3. 年の途中で就職した方について、その就職前に他の支払者が支払った給与等を通算して年末調整を行った場合には、他の支払者が支払った給与等の金額・控除した社会保険料の金額・所得税及び復興特別所得税の合計額、他の支払者の氏名又は住所・退職年月日を記入してください。
4. 青色事業専従者の場合は、「普専 普E」と記入してください。白色事業専従者の場合は「普E」となります。
5. 同一生計配偶者を有する方で、その方が障がい者、特別障がい者又は同居特別障がい者に該当する場合は、氏名及び
- ⑧ 【住宅借入金特別控除適用数】 年末調整の際に住宅借入金等特別控除の適用がある場合、その適用数を記入します。
【住宅借入金等特別控除区分】
適用を受けている区分を下記のように記入してください。
又、特定取得に該当する場合は(特)、特別特定取得に該当する場合は(特特)を付記してください。
住…一般の住宅借入金控除の場合
認…認定住宅の新築等に係る住宅借入金控除の場合
増…特定増改築等住宅借入金等特別控除の場合
震…東日本大震災によって自己の家屋が居住の用に供することが出来なくなった場合で、平成23年から令和3年12月31日までの間に新築等をした家屋について、震災特例法第13条の2第1項の規定の適用を選択した場合
【住宅借入金等特別控除可能額】
住宅借入金等特別控除額が算出所得税額を超えるため、年末調整で控除しきれない控除額がある場合には、住宅借入金等特別控除可能額を記入してください。
- ⑨ 控除の対象となる配偶者の氏名、フリガナ及び個人番号を記入してください。また、控除対象配偶者が非居住者である場合には、区分の欄に「○」を記入してください。
- ⑩ 控除の対象となる扶養親族の氏名、フリガナ及び個人番号を記入してください。また、控除対象扶養親族が非居住者である場合には、区分の欄に「○」を記入してください。
- ⑪ 16歳未満の扶養親族の氏名、フリガナ及び個人番号を記入してください。また、16歳未満の扶養親族が非居住者である場合には、区分の欄に「○」を記入してください。
- ⑫ 控除対象扶養親族・16歳未満の扶養親族が5人以上的場合は、5人目以降の扶養親族の個人番号を記入します。複数人いる場合、「摘要」欄に記載した氏名との対応関係が分かるようにしてください。
- ⑬ 合計所得金額に応じた基礎控除額を記載してください。ただし、基礎控除の額が48万円の場合は記載不要です。
- ⑭ 収入金額が850万円を超え、所得金額調整控除の適用がある場合には、所得金額調整控除額を記入してください。又、該当する要件に応じて「摘要」欄に以下のように記入してください。
【本人が特別障がい者】…記載不要
【同一生計配偶者が特別障がい者】…「同一生計配偶者の氏名(同記)」
【扶養親族が特別障がい者】又は【扶養親族が年齢23歳未満】…「扶養親族の氏名(調整)」
- ⑮ 1. 支払をする方の個人番号又は法人番号を記入してください。
2. 給与支払者の住所(居所)又は所在地、氏名又は名称及び電話番号を記入してください。

* 給与支払報告書はスキャナーで判読処理をしますので、正確、丁寧に記載してください。